

みせるほか平均値では著差はなく、各学年とも11度から30度内外の範囲にわたってひろく分布している。

## B-77 衣服寸法に関する研究（第1報） 小中学生の身体の肩傾斜について

福島大教育 高橋キヨ子  
聖和学園短大 雁部 愛  
会津短大 ○甲野藤ウタ

1. 本研究は、小・中学生の体型に適する衣服型紙を設定することを目的として、男子は36項目、女子は38項目の身体計測を行ない、今回は肩傾斜の角度を中心として、性別・学年別の体型の特徴を観察した。

2. 資料は、福島市における小学校および中学校の各学年男女50名ずつ、合計900名である。被検者は両親が福島県出身者である子女を選び、主な生育地は福島市である。研究項目は、身長・胸囲・背肩幅ならびに肩傾斜角の4項目である。

3. a 被検者の体位を概観すると、身長については一般に今回成績の方が全国成績よりやや優れている。胸囲・体重については、やや劣っているようである。

b 肩傾斜角は、全学年にわたり男子が女子より小さい。すなわち、小学校1年では男子21.4度標準偏差3.79度、女子23.5度標準偏差2.86度、中学1年では、男子18.9度標準偏差3.97度、女子22.8度標準偏差3.24度であって学年のすすむにしたがって性差が大きくなる。

c 年齢的には、男子中学生がややいかり型の傾向を